

研究論文

カナダの大学院における M.Ed.及び Ed.D.プログラムの設置状況

平田 淳*

Installation Statuses of M.Ed. and Ed.D. Programs in Canadian Universities

Jun HIRATA

【要約】

カナダ大学協会の会員となっている 93 大学のウェブサイトによると、M.Ed.プログラムを有している大学は 45 大学、Ed.D.プログラムを有しているのは 11 大学である。M.Ed.プログラムを有している大学が少なくとも 1 州に 1 大学はあるのに対し、Ed.D.プログラムを有している大学があるのは NB 州、ケベック州、オンタリオ州、アルバータ州、BC 州のみであるが、カナダを地理的に分類する際の基準に沿って考えると、一応それぞれのエリアに少なくとも 1 大学はあるということになる。他方で教育系大学院で M.A.プログラムがあるのは 24 大学であるのに対し、Ph.D.は 28 大学であり、修士は M.Ed.、博士は Ph.D.という組み合わせでプログラムを有する大学も少なくない。これは、従来カナダでは M.A.と M.Ed.、Ph.D.と Ed.D.をあまり厳格に区別することがなかったということに起因すると考えられるが、他方で近年では研究者向けプログラムと実践家向けプログラムの内容を差異化しようという傾向にある。

【キーワード】カナダの教育系大学院学位プログラム、M.Ed.、Ed.D.、M.A.、Ph.D.

はじめに

筆者は 2018 年度から 2022 年度までの 5 か年で科研費研究「カナダの大学院における教育専門職向け学位プログラムの教育効果に関する調査研究」を実施している。これまで、オンタリオ州のブロック大学 (Brock University) (平田, 2019a) (平田, 2019b) 及びトロント大学大学院オンタリオ教育研究所 (Ontario Institute for Studies in Education of the University of Toronto: OISE) (平田, 2020a) (平田, 2020b) について考察しており、今年度もオンタリオ州かアルバータ州の大学院 (特に Ed.D.プログラムを提供している大学院) で調査を実施する予定であった。しかし、2020 年初頭から COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) のパンデミックが世界中を襲い海外渡航ができなくなったため、今年度のカナダ現地調査は断念せざるを得なくなった。外国研究を主要なテーマとしている研究者にとっては現地調査ができないというのは極めて深刻な事態であり、パンデミックが治まり、日本政府がカナダ渡航を許可し、カナダ政府が日本からの渡航者を受け入れることを公的に承認するまでは、研究が一定程度停滞することは避けられない。しかし、そういう状況だからこそ、現地調査の準備や実施・事後整理、収集したデータの処理や論文執筆など例年行っている作業以外の研究に関わることを、ある意味腰を据えて行うことができると、前向きにとらえることにした。そこで本稿では、まずカナダにおいて教育専門職向け学位プログラムである M.Ed. (Master of Education) あるいは Ed.D. (Doctor of Education)、あるいはその双方を提供している大学院の数や傾向といった全体像を各大学のウェブサイトから収集できる情報から明らかにし、そうした全体像とこれまで調査したケースから得られた知見とを照らし合わせることで一体何が見えて

*佐賀大学大学院学校教育学研究科

くるのか検討し、今後の本科研費研究の土台の構築と方向性の設定を行うことを目的とする。

1. 各大学における M.Ed.及び Ed.D.プログラムの設置状況とその傾向

表1は、カナダの大学協会である「ユニバーシティ・カナダ (Universities Canada)」(以下、「カナダ大学協会」(以前の「カナダ大学カレッジ協会 (Association of Universities and Colleges in Canada : AUCC)」である)の会員となっている85大学¹の大学院における教育系学位プログラム(M.A., M.Ed., Ph.D., Ed.D.)の設置状況である。本稿で検討対象とするプログラムは教育専門職向け大学院学位プログラムであるM.Ed.とEd.D.であるが、比較対象として研究者向け学位プログラムである教育系のM.A.とPh.D.の設置状況も併記した。表の作成に際しては、まずカナダ大学協会のウェブサイトで会員大学リストのページ²に行き、そこからリンクを貼られている各大学のサイトに飛び、教育学部あるいは大学院プログラムを選択して、設置している学位プログラムや種類等内容について調べていった。本節では、本表から見てきたいいくつかの傾向について言及することとする。

表1 カナダの大学院における教育系 M.A., Ph.D.及び M.Ed., Ed.D.プログラムの設置状況

州数	大学名	修士号		博士号		備考
		M.A.	M.Ed.	Ph.D.	Ed.D.	
NL 1	Memorial University of Newfoundland		○*	○		
PEI 1	University of PEI		○	○		
ノ バ ス コ シ ア 9	Acadia University		○	○		Ph.D.は州内他大学との連合プログラム
	Cape Breton University		○			
	Dalhousie University					
	Mount Saint Vincent University	○	○	○		Ph.D.は州内他大学との連合プログラム
	NSCAD University	○				芸術系大学
	Saint Mary's University		○			
	St. Francis Xavier University		○	○		
	Université Sainte-Anne		○			

¹ カナダ大学協会のウェブサイトには会員大学として名称が挙がっているのは96校であるが、ケベック州以外のいわゆる分校のような位置づけのものは数から除外した。これらを引いた校数が85校である。

² <https://www.univcan.ca/universities/member-universities/> (2020年8月25日採取)。

	University of King' s College					Dalhousie University と提携
NB 4	Mount Allison University					
	St. Thomas University					
	Université de Moncton		○		○	
	University of New Brunswick		○	○		
ケ ベ ッ ク 18	Bishop' s University	○	○			
	Concordia University	○		○		
	École de technologie supérieure					ケベック大学の工学系大学
	École nationale d' administration publique					ケベック大学の行政学系大学
	École des Hautes Études Commerciales de Montréal (HEC Montréal)					モントリオール大学附属のビジネススクール
	Institut national de la recherche scientifique					ケベック大学附属の化学系大学
	McGill University	○	○	○		全て教育心理系
	Polytechnique Montréal					モントリオール大学附属の工学系大学
	Université de Montréal	○	○	○	○	
	Université de Sherbrooke	○		○		
	Université Laval	○	○	○		
Université du Québec à Chicoutimi (UQAC) **		○		○	ケベック大学シクティミ校	

	Université du Québec à Montréal (UQAM)	○	○	○		ケベック大学モントリオール校
	Université du Québec à Rimouski (UQAR)	○	○	○	○	ケベック大学リムスキ校
	Université du Québec à Trois-Rivières (UQTR)	○	○	○		ケベック大学トロワールビエール校
	Université du Québec en Abitibi-Témiscamingue (UQAT)		○		○	ケベック大学アビティビーテミスカミング校
	Université du Québec en Outaouais					ケベック大学ウタウエ校 該当頁アクセス不能 (2020.8.4)
	Université TÉLUQ	○				ケベック大学附属の遠隔教育大学
オンタリオ 24	Algoma University					
	Brock University		○	○		Ph.D.はレイクヘッド大学, ウィンザー大学との連 合プログラム
	Carleton University					
	Lakehead University		○	○		Ph.D.はブロック 大学, ウィンザー 大学との連合プ ログラム
	Laurentian University					
	McMaster University					
	Nipissing University					
	OCAD University					芸術系大学
	Ontario Tech University	○	○			オンライン・プロ グラム
Queen' s University		○	○			

	Redeemer University					
	Royal Military College of Canada					アクセス不能
	Ryerson University					
	St. Jerome's University					University of Waterloo と提携
	Trent University		○			
	University of Guelph					
	University of Ottawa	○	○	○		
	University of Sudbury					
	University of Toronto (Ontario Institute for Studies in Education)	○	○	○	○	
	University of Waterloo					
	University of Windsor		○	○		Ph.D.はブロック大学, レイクヘッド大学との連合プログラム
	Western University	○	○	○	○	M.Ed.に相当する学位の名称は Master of Professional Education
	Wilfrid Laurier University		○			
	York University		○	○		
マニトバ5	Brandon University		○			
	Canadian Mennonite University					
	Université de Saint-Boniface					
	University of Manitoba		○	○		
	University of Winnipeg					

サ ス カ チ ュ ワ ン 3	First Nations University of Canada					但し, Master of Indigenous Education, Master of Indigenous Language Education といっ た修士号はある。
	University of Regina					
	University of Saskatchewan		○	○		
ア ル バ ー タ 8	Athabasca University	○	○		○	すべて遠隔教育 (Distance Education) 領域 の学位
	Concordia University of Edmonton		○			
	King' s University					
	MacEwan University					
	Mount Royal University					
	University of Alberta	○	○	○	○	
	University of Calgary	○	○	○	○	
	University of Lethbridge		○	○		
BC 12	Capilano University					
	Emily Carr University of Art + Design					芸術系大学
	Kwantlen Polytechnic University					職業能力開発系 大学
	Royal Roads University	○				
	Simon Fraser University	○	○	○		
	Thompson Rivers University		○			

Trinity Western University	○				
University of British Columbia	○	○	○	○	
University of Northern British Columbia		○			
University of the Fraser Valley		○			
University of Victoria	○	○			
Vancouver Island University		○			

州名の略記：NL=Newfoundland and Labrador (ニューファンドランド&ラブラドル), PEI=Prince Edward Island (プリンスエドワード・アイランド), NB=New Brunswick (ニュー・ブランズウィック), BC=British Columbia (ブリティッシュ・コロンビア)

*M.A.と Ph.D.に関しては、学位名そのものに学問分野(“Education”)が冠せられていないため、プログラムの内容や後続する専門領域(例えば M.A. “in Art Education”)が教育に関連するものであれば「○」を付している。

**ケベック州で網掛けをしているのは、すべてケベック大学(Université du Québec)を構成する大学・研究機関である。小林(1994)によると、ケベック州ではいわゆる「静かな革命」の後1968年に本格的な大学改革に着手され、その中心的役割を担ったのが、州立のケベック大学新設であった。ケベック大学は従来の大学とは異なった管理・運営・教育の組織を有する複合大学で、独立した大学本部を中心に、大学教育の地理的平等を促進するために地方都市に校正大学と研究所を設置してくのもであった。新大学の設立は1969年に着手され、モンリオール、トロワ・リビエール、シクティミの三か所にそれぞれ地名を冠したケベック大学を設定し始め、現在では10校・研究機関の大学連合にまで拡大している(http://www.uquebec.ca/reseau/fr/system/files/feuilleton-institutionnel-uq-anglais-avril_2016.pdf, 2020.8.4 採取)。ゆえに、ユニバーシティ・カナダ(以前のカナダ大学カレッジ協会(Association of Universities and Colleges in Canada: AUCC)のウェブサイトには「Université du Québec」の名称がその構成大学とは別に記載されているが、実際のプログラムは構成大学で提供されているため、本表からは削除している。本校と分校が以上のような関係にあるのはケベック州のみであり、他州でも、例えばオンタリオ州のウェスタン大学にはそのアフィリエイト・ユニバーシティ・カレッジとしてブレシア・ユニバーシティ・カレッジ(Brescia University College)やキングス・ユニバーシティ・カレッジ(King's University College)等があり、カナダ大学協会のウェブサイトではこれらもウェスタン大学とは別にリストアップされているが、ケベック大学の分校とは位置づけが異なり、これらはあくまでもウェスタン大学の附属カレッジであるため、本稿のカウントからは除外している。他の大学についても、同様である。

出典：カナダ大学協会のウェブサイト(<https://www.univcan.ca/universities/member-universities/> 2020年8月25日採取)に掲載されている会員大学の名称を基に、筆者が各大学のウェブサイトを開覧して作成。各大学ウェブサイト参照箇所のURLは、巻末に提示する。

まず、州別の大学設置数であるが、オンタリオ24、ケベック18、BC12、ノバスコシア9、アルバータ8、マニトバ5、NB4、サスカチュワン3、NLとPEIがそれぞれ1となっている。また、大学院教育系学位プログラムの設置数は、オンタリオ、ケベック、BC、アルバータが上位4州を占めている。大学設

置数と比較するとアルバータとノバスコシアが順位的に入れ替わることになるが、より広い地理的分類に則って考えると、沿海諸州（maritime provinces: NL, PEI, NB, ノバスコシア）の大学設置数が15であるのに対し、平原諸州（prairie provinces: マニトバ, サスカチュワン, アルバータ）が16となっており、沿海諸州ではややノバスコシアに偏っているためそうなっているとみることが可能であろう。いずれにせよ大学院教育系学位プログラム設置数におけるこれら上位4州の人口規模は、表3に示す通り2016年の国勢調査によると、カナダ全体の人口35,151,728に対して、上位からオンタリオ州13,448,494、ケベック州8,164,361、BC州4,648,055、アルバータ州4,067,175となっており（Statistics Canada, 2017）、州別の人口規模に比例した大学院学位プログラム設置数の順位になっているということになる。

表2 カナダ諸州及び全国の人口

州名	人口（人）
NL	519,716
PEI	142,907
ノバスコシア	923,598
NB	747,101
ケベック	8,164,361
オンタリオ	13,448,494
マニトバ	1,278,365
サスカチュワン	1,098,352
アルバータ	4,067,175
BC	4,648,055
ユーコン準州	35,874
ノースウェスト準州	41,786
ヌナブト準州	35,944
Canada	35,151,728

出典：(Census of population, *Highlights Tables* (98-402-X2016001); Statistics Canada, 2017)

本稿の目的に特化してみていくと、まず全85大学のうち、M.Ed.プログラムを提供しているのは45大学であり、半数である。また、M.A.プログラムを設置している大学数が24となっており、M.Ed.プログラムを設置している大学の半数強となっている。M.Ed.プログラムを設置している大学は全州にあるが、教育系のM.A.を設置している大学がある州は、ノバスコシア、ケベック、オンタリオ、アルバータ、BCの5州となっている。沿海諸州ではノバスコシアに、平原州ではアルバータに、あとは大都市圏ケベック、オンタリオ、BCに、それぞれM.A.を置く大学があるということになっており、一応カナダを地理的に分類する際の地域ごとという意味では、理に適っていることにはなる。

教育専門職向けの博士号学位プログラムであるEd.D.を有している大学は、沿海4州ではNB州のモンクトン大学のみ、その他でもケベック州のモントリオール大学とケベック大学シクティミ校・リムスキ校・アビティビーテミスカミング校、オンタリオ州のOISEとウェスタン大学、アルバータ州のアサバスカ大学、アルバータ大学、カルガリー大学、BC州のブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)であ

り、その数は11と少ない。そのうち、英語系大学でEd.D.プログラムを提供しているのは、オンタリオ州のOISE、ウェスタン大学、アルバータ州のアルバータ大学、カルガリー大学、アサバスカ大学、BC州のUBCの5大学である。M.Ed.プログラムは各州少なくとも1大学では提供されているのに対し、Ed.D.プログラムはNL州、PEI州、ノバスコシア州、マニトバ州、サスカチュワン州の5州では、少なくとも対面式では受講が困難ということである。しかし、沿海諸州、大都市圏（オンタリオ州及びケベック州）、平原州、太平洋州（BC州）という地理的分類で見た場合、少なくとも1大学にはEd.D.プログラムが置かれているという点は、上述のM.A.と同様である。他方で、Ph.D.プログラムを提供しているのは28大学に上り、各州に1大学は設置されている。M.A.・M.Ed.では設置大学数が24・45と実践家向けプログラムの方が倍近くあったが、逆にPh.D.・Ed.D.では28・11と研究者向け学位プログラムの設置大学数の方が倍以上多くなっている。

また、例えばノバスコシア州のアカディア大学やマウント・セイント・ビンセント大学では州内他大学との連合Ph.D.プログラムを実施しており、オンタリオ州のブロック大学、レイクヘッド大学、ウィンザー大学でもPh.D.のジョイントプログラムを設置している。他方で、Ed.D.に関してはこうした複数の大学が連合して1つの学位プログラムを運営するという事は見られない。上述の通り全85大学のうち、教育系Ph.D.プログラムを設置しているのが28大学であり、Ed.D.の11大学と比べると倍以上の開きがある。それはPh.D.の方がそれだけ需要があるということであろうし、1つの大学では不可能であっても複数の大学による連合プログラムとして運営してでも実施するだけの需要があるということであろう。逆に、教育専門職向け博士学位プログラムであるEd.D.は、研究者向けのPh.D.プログラムよりも需要が少ないのだろう、という推測も成り立つ。他方で修士の学位プログラムでは、M.Ed.設置数がM.A.設置数の約2倍弱あった。修士のレベルでは、実践家向けプログラムの方が需要が高い、ということであろう。

2. 過去2年間の本研究成果から見える諸側面

本節では、本科研費研究過去2年間で行った現地調査で収集したデータ及び関連資料を検討した結果得られた知見の視点から本稿のテーマを見たとき、カナダの教育系大学院学位プログラムの設置状況にはどのような傾向がみられるのかについて考察していくこととする。

(1) 研究者向け学位プログラムと実践家向け学位プログラムの差異化

上述の通り、M.A.、M.Ed.、Ph.D.、Ed.D.では設置する大学の数が大幅に異なるという傾向になっている。ここで留意すべきは、M.A.及びPh.D.が研究者向けプログラムであり、M.Ed.及びEd.D.が実践家向けプログラムであるということ、だとすればM.Ed.と接続するプログラムはEd.D.でありM.A.と接続するのはPh.D.であるはずだが、14の大学では修士号としてはM.Ed.のみ、博士号としてはPh.D.のみプログラムを提供している、つまり同じ大学に限定するとM.Ed.からPh.D.へと接続するという事になっている点である。この点についてオンタリオ州のある大学のM.Ed.担当教員³に聞いたところ、M.A.とM.Ed.及びPh.D.とEd.D.は従来それほど厳格に区別されておらず、大学教員の中にもPh.D.ではなくEd.D.を取得しているものもいるという。別の教員によると最終取得学位がEd.D.の教員とPh.D.の教員で特に処遇

³ 筆者の質問に回答した教員の所属と個人名に関しては、研究倫理上の視点から特定しないものとする。以下同。

が異なるということはないということであり、ブロック大学⁴や OISE⁵を見ても確かに Ed.D.が最終学位である教員もいる。しかし、やはり修士号が M.A.で博士号が Ph.D.である場合が圧倒的に多い。いずれにせよ、大学院に設置されるプログラムは、修士及び博士通して形式的に当該学位プログラムが実践家向けか研究者向けかということを中心に大きな原理として編成されているわけではない、ということはいえよう。

この点について、同州の別の教員によると、近年では M.A.と M.Ed.及び Ph.D.と Ed.D.のプログラム内容にある程度差異化することが求められる傾向にあるという。例えば従来は Ph.D.でも Ed.D.でも学位論文の提出が修了要件の一つとされていたが、最近では Ed.D.の修了要件として学位論文の執筆ではなくそれに代わるものを要件とする傾向もみられるという。筆者はこれまで、カナダの大学に提出された Ph.D.論文と Ed.D.論文を数本読んだことがあるが、双方ともに実際に現場で収集したデータの分析を通じた実証研究がほとんどであった。他方で Ph.D.論文の方がより理論的考察が深くなされ、逆に Ed.D.論文の方が理論研究は比較的浅いものに対し、現場の情報をより広く収めていたという印象をもっている。また OISE においては修了のための必修のコースワークについても、Ph.D.と Ed.D.ではいくらかは異なる授業を習得しなければならないし、Ed.D.の方が Ph.D.よりも受講しなければならない授業数は多く設定されている（平田，2020）。筆者の視点からは既に十分差異化は図られているようにも感じたが、上述のように従来はあまり厳格に Ph.D.と Ed.D.を区別していなかったという点に鑑みると、今後はより明確に区別していくということなのかもしれない。

(2) プログラム・オプションと大学間の学生獲得競争

2018 年度に調査を行ったオンタリオ州のブロック大学 M.Ed.プログラムにおいては、学位取得までのパスウェイ・オプションとしてリサーチ・パスウェイ（Major Research Paper: MRP オプションと学位論文オプション）とコース・パスウェイ（コースワークのみ）の2つの選択肢が用意されているが、それは現職教員や新卒学生、教員以外の職業といった多様な属性から構成される学生の個別事情になるべく対応しようという意図から制度設計されたと考えられる。しかし調査協力者の教員は、本来ならばリサーチ・パスウェイの学位論文オプションがより多くの学びを実現できると考えており、また学生にそれを推奨しているが、実際にはほとんどの学生は学位論文も MRP も執筆せず、授業に出席し課題をこなしていれば修了できるコース・パスウェイを選択するということが多かった。その理由としては、コース・パスウェイでは教員が準備した授業に出席し、教員が提示する課題をこなすという、ある意味「受け身」的な姿勢で対応可能であるが、リサーチ・パスウェイでは研究計画書の作成から調査の実施、調査結果の分析等「主体的」に行動しなければならない、そのためには大きな「自律性」が要求されるため、学生は「易きに流れる」傾向にあり、結果としてコース・パスウェイを選択しているということが懸念されていた（平田，2019）。そうであるなら、学生が安易にパスウェイ選択を行わないように、あるいは品質保証という意味でも、コース・パスウェイを廃止するという選択肢もあるように思える。しかし調査協力者のある教員は、近隣の多くの大学で M.Ed.プログラムを設置しており、大学間での学生獲得競争が発生している現実に鑑みると、コース・パスウェイのデメリットは認識しつつもそれを保持せざるを得ない状況にあるということも吐露していた。

オンタリオ州のように近隣に多くの大学がひしめき合う州であればそういった状況も考えられるで

⁴ <https://brocku.ca/education/faculty-and-staff/>（2020年11月2日採取）。

⁵ <https://www.oise.utoronto.ca/oise/Programs/index.html>（2020年11月2日採取）。但し、教員の経歴は各研究科のサイトで閲覧可能であるため、上記 URL から各研究科のサイトに行き、調べる必要がある。

あろうが、もしそうしたことがある意味普遍的に言えるのであれば、近隣に大学がなく、ゆえに厳しい学生獲得競争にない状況においては、ブロック大学でいうリサーチ・オプションに特化した M.Ed.プログラムがあってもいいだろう。そこで、州に1つしか大学がない、必然的に M.Ed.プログラムもあったとしても州に1つしかない、NL 州のメモリアル大学と PEI 州の PEI 大学をしてみる。

メモリアル大学の M.Ed.プログラム⁶においては、修了までに5つのルートが設けられている。すなわち、30単位分のコースワークから成る「コース・ルート (Course Route)」、18単位分のコースワークに加えて学位論文の執筆から成る「学位論文ルート (Thesis Route)」、24単位分のコースワークに6単位時間分のインターンシップから成る「インターンシップ・ルート (Internship Route)」、24単位のコースワークに6単位時間分のプロジェクトから成る「プロジェクト・ルート (Project Route)」、そして24単位分のコースワークに6単位時間分のペーパーフォリオ (Paper Folio) から成る「ペーパーフォリオ・ルート (Paper Folio Route)」である。つまり、学位論文を執筆せずとも学位取得が可能なオプションが4つもある。また、PEI 大学の M.Ed.プログラム⁷においては、コース・オプション (Course-based Option) と学位論文オプション (Thesis-based Option) があり、前者は10のコースワーク (必修7+選択3) をこなすことで学位取得となり、後者は6つのコースワーク (必修5+選択1) に学位論文の執筆 (4コースワーク分に相当) が学位取得の要件とされている。いずれのプログラムも当該州で唯一の M.Ed.プログラムであり、オンタリオ州ほどの学生獲得競争があるとは思えない。しかしそれでも、学位論文を執筆せずとも M.Ed.学位を取得できるオプションは準備されている。

ところで、近年 Ph.D.プログラムと Ed.D.プログラムを差異化するという傾向にあることは上述した。そういった研究者向け学位プログラムと実践家向け学位プログラムの差異化は、M.A.プログラムと M.Ed.プログラムにも当てはまるようである。例えば、OISE の1つの研究科である「リーダーシップ・高等・成人教育研究科 (Department of Leadership, Higher and Adult Education: LHAE)」内の一専門領域である「教育リーダーシップと政策 (Educational Leadership and Policy: ELP)」における M.Ed.プログラムには、以前は学位論文オプションがあったが、現在は MRP オプションとコースワーク・オプションの2つのみである。学位論文オプションをなくした理由としては、Ph.D.と Ed.D.同様、M.A.と M.Ed.を差異化する必要があったため、M.A.では必須となっている学位論文執筆を M.Ed.プログラムからは外したということである (平田, 2020b)。他方で、OISE の M.Ed.で学位論文を課さない理由である「M.A.との差異化」がある意味普遍的なものであるとすれば、M.A.プログラムと差異化を図る必要がない、つまり同じ研究科に M.Ed.しか存在しない場合、「より深い学び」が達成されると考えられる学位論文の執筆を M.Ed.学位取得要件から外す理由はない、という解釈も成り立つ。上述のメモリアル大学と PEI 大学には教育系の M.A.はなく、修士号としては M.Ed.のみである。しかし、双方の大学において、学位論文執筆は M.Ed.取得に際してオプションとしては存在するが、要件とはされていない。つまり、当該大学でどの学位プログラムを提供しているかということではなく、教育系大学院が提供するプログラム全体として、M.Ed.や Ed.D.学位取得のために学位論文を執筆するということが要件とはされなくなっている傾向にあるということであり、そこでは研究者向け学位と実践家向け学位の差異化が図られている、ということなのであろう。

(3) 大学院進学 of 動機付け

筆者が2018年に行ったブロック大学調査においては、現職教員が M.Ed.プログラムに入学し、就業し

⁶ <https://www.mun.ca/educ/programs/graduate/master/masterEdLeadershipStudies.php> (2020年9月4日採取)。

⁷ <https://www.upei.ca/programs/master-education#section21490> (2020年9月4日採取)。

ながら学位取得を目指す大きな要因として、修士号取得が昇任や昇給につながるということが見出された。拙稿で明らかにしたように、昇給に関しては、オンタリオ州では教職経験年数 10 年で自動昇給はなくなり、その後は修士号や追加資格 (Additional Qualifications: AQ) (平田, 2020c) の取得によって昇給を得るしかない (平田, 2020d)。昇任に関しては、例えば管理職になるための資格要件として、及び管理職になるために修了しなければならない「管理職資格プログラム (Principal's Qualification Program: PQP)」を受講するための資格要件として、修士号の保有が挙げられている (平田, 2020e)。そしてその場合、多くの現職教員が M.Ed.の学位取得を目指すということである (平田, 2019)。オンタリオ州では、24 大学のうち 12 大学で M.Ed.プログラムが提供されており、諸州の中では最多である。上述の通りオンタリオ州は、カナダ諸州の中で最大の人口規模を有しており、ということは教員数もそれだけ多いということが推測されるが、それだけの数の教員が昇給や昇任の要件を満たすためには、それ相応に多くの大学が M.Ed.プログラムを提供する必要がある、という推測は一応成り立つだろう。そしてそう考えると、M.A., Ph.D., Ed.D.プログラムに比べて M.Ed.プログラムの数が全州において最も多くなっているというのは、もしかしたら他の州でも同じ理由、つまり昇給や昇任の要件として修士号の取得が求められているという理由で、それぞれの数の M.Ed.プログラム提供大学が必要であった、ということかもしれない。これはあくまでも推測に過ぎず、また各州の教員給与制度や昇任制度を明らかにしてみなければ確定的なことは言えないが、M.Ed.及び Ed.D.プログラムの存在意義をどう捉えるかという点において、本研究における今後の検討課題としたい。

おわりに

以上、カナダ大学協会及び会員大学のウェブサイトを手がかりに、カナダの教育系大学院における学位プログラム設置状況を概観してきた。上述の通り、カナダ大学協会の 85 会員大学のうち、M.Ed.プログラムを提供しているのは 45 大学であり、M.A.プログラムを設置しているのが 24、Ed.D.を有している大学は 11 (そのうち英語系大学は 5 大学)、Ph.D.プログラムを提供しているのは 28 大学である。今後の本研究の方向性としては、まず、教育実践家向け大学院学位プログラムである M.Ed.プログラムと Ed.D.プログラムの双方を有する大学を主たる対象としていく必要がある。その際、実践家向け学位プログラムの修士課程と博士課程ではどこがどう違うのか、明らかにしていくことを試みる。また、筆者の言語能力の限界上英語系大学に特化しなければならないが、これら両プログラムを有する英語系大学は 5 大学であり、それらはすべて M.A.と Ph.D.の学位プログラムも有している。つまり、研究者向け学位プログラムと比較を通して、実践家向け学位プログラムの特徴がよりクリアに見えてくるものと思われる。本稿はそうした比較分析のための土台の一片を成すものである。

【参考文献】

- ・ 平田淳 (2019) 「カナダ・ブロック大学大学院における M.Ed.プログラムの実態の諸側面—担当教員の認識に関する質的分析—」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第 3 巻, 69—91 頁。
- ・ 平田淳 (2020a) 「トロント大学オンタリオ教育研究所 (Ontario Institute for Studies in Education of the University of Toronto: OISE/UT) における研究科と学位プログラムの制度設計」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第 4 巻, 110—127 頁。
- ・ 平田淳 (2020b) 「トロント大学オンタリオ教育研究所における教育実践家向け学位プログラム (M.Ed.・Ed.D.) 及び研究者向け学位プログラム (M.A.・Ph.D.) の類似点と相違点—「リーダーシップ・高等・成人教育」研究科「教育リーダーシップと政策」プログラムを題材として」『佐賀大学

大学院学校教育学研究科紀要』第4巻, 128-151頁。

- ・ 平田淳 (2020c) 「カナダ・オンタリオ州における『教員追加資格 (Additional Qualifications :AQ)』に関する一考察」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第4巻, 64-87頁。
- ・ 平田淳 (2020d) 「カナダ・オンタリオ州における教員給与制度に関する一考察」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第4巻, 40-63頁。
- ・ 平田淳 (2020e) 「カナダ・オンタリオ州における管理職資格プログラムに関する一考察」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第4巻, 88-109頁。
- ・ 小林順子 (1994) 『ケベック州の教育』東信堂。
- ・ Statistics Canada (2017). *Table 2 Population size and growth rate, Canada, provinces and territories, 2006 to 2011 and 2011 to 2016*, Retrieved September 8, 2020, from the World Wide Web: <https://www150.statcan.gc.ca/n1/daily-quotidien/170208/t002a-eng.htm>.

【表1 記載の大学別 URL】

○ NL

1. Memorial University of Newfoundland

<https://www.mun.ca/educ/programs/graduate/> 2020.7.20 採取

○ PEI

2. University of PEI

https://www.upei.ca/programs?field_program_level_value=graduate 2020.7.20 採取

○ Nova Scotia

3. Acadia University

<https://education.acadiau.ca/our-programs.html> 2020.7.20 採取

4. Cape Breton University

<https://www.cbu.ca/academics/schools/school-of-education-and-health/> 2020.7.20 採取

5. Dalhousie University

<https://www.dal.ca/academics/programs.html> 2020.7.20 採取

6. Mount Saint Vincent University

<https://www.msvu.ca/academics/faculty-of-education/graduate-programs-in-education/> 2020.7.19 採取

7. NSCAD University

<https://my.nscad.ca/program.do?programAction=DegreeProgramList> 2020.7.20 採取

8. Saint Mary's University

<https://smu.ca/academics/intl-master-teaching-english.html> 2020.7.20 採取

9. St. Francis Xavier University

<https://www.stfx.ca/academics/education> 2020.7.20 採取

10. Université Sainte-Anne

<https://www.usaintanne.ca/en/programs> 2020.7.20 採取

11. University of King's College

<https://ukings.ca/programs/> 2020.7.20 採取

○ NB

12. Mount Allison University

<https://www.mta.ca/degrees/> 2020.7.20 採取

13. St. Thomas University

<https://stu.ca/bachelorofarts/> 2020.7.20 採取

14. Université de Moncton

<https://www.umoncton.ca/umce-education/node/4> 2020.7.19 採取

15. University of New Brunswick

<https://www.unb.ca/gradstudies/programs/education.html> 2020.7.19 採取

○ Quebec

16. Bishop's University

<https://www.ubishops.ca/academic-programs/school-of-education/graduate-courses-programs/> 2020.7.20 採取

17. Concordia University

<http://www.concordia.ca/artsci/education/programs/graduate.html> 2020.7.20 採取

18. École de technologie supérieure de l'université du Québec

<http://www.etsmtl.ca/en/studies/graduate-programs> 2020.7.20 採取

19. École nationale d'administration publique

http://www.enap.ca/enap/12324/Accueil_2e_et_3e_cycles.enap 2020.7.20 採取

20. École des Hautes Études Commerciales de Montréal (HEC Montréal)

<https://www.hec.ca/en/> 2020.7.20 採取

21. Institut national de la recherche scientifique

<http://www.inrs.ca/english/graduate-studies/masters-doctorates-other-graduate-programs> 2020.7.20 採取

22. McGill University

<https://www.mcgill.ca/gradapplicants/educational-and-counselling-psychology-0> 2020.7.20 採取

23. Université de Montréal

<https://fse.umontreal.ca/accueil/> 2020.7.20 採取

24. Université de Sherbrooke

<https://www.usherbrooke.ca/admission/> 2020.7.20 採取

25. Université Laval

<https://www.fse.ulaval.ca/etudes/> 2020.7.20 採取

26. Université du Québec à Chicoutimi (UQAC)

<https://www.uqac.ca/programmes/> 2020.7.20 採取

27. Université du Québec à Montréal (UQAM)

<https://etudier.uqam.ca/programmes> 2020.7.20 採取

28. Université du Québec à Rimouski (UQAR)

<https://futursetudiants.uqar.ca/maitrise-en-education#intro> 2020.7.20 採取

29. Université du Québec à Trois-Rivières (UQTR)

https://oraprdnt.uqtr.quebec.ca/pls/public/gscw031?owa_no_site=1253 2020.7.20 採取

30. Université du Québec en Abitibi-Témiscamingue (UQAT)
<https://www.uqat.ca/etudes/education/> 2020.7.20 採取
31. Université du Québec en Outaouais
<https://uqo.ca/mod/education> 2020.7.20 採取
32. Université TÉLUQ
<https://www.teluq.ca/site/etudes/static/programmes.html#EDC> 2020.7.20 採取
- **Ontario**
33. Algoma University
<https://www.algomau.ca/academics/#> 2020.7.20 採取
34. Brock University
<https://brocku.ca/education/programs/graduate-programs/> 2020.7.20 採取
35. Carleton University
<https://calendar.carleton.ca/grad/gradprograms/> 2020.7.21 採取
36. Lakehead University
<https://www.lakeheadu.ca/programs/graduate/programs/doctoral/> 2020.7.21 採取
37. Laurentian University
<https://laurentian.ca/graduate-programs> 2020.7.21 採取
38. McMaster University
<https://gs.mcmaster.ca/programs/> 2020.7.21 採取
39. Nipissing University
<https://www.nipissingu.ca/academics/faculty-education-and-professional-studies> 2020.7.21 採取
40. OCAD University
<https://www.ocadu.ca/academics/graduate-studies> 2020.7.21 採取
41. Ontario Tech University
<https://ontariotechu.ca/programs/index.php> 2020.7.21 採取
42. Queen's University
<https://educ.queensu.ca/grad> 2020.7.21 採取
43. Redeemer University
<https://www.redeemer.ca/academics/degree-programs/> 2020.7.21 採取
44. Royal Military College of Canada
アクセス不能
45. Ryerson University
<https://www.ryerson.ca/programs/undergraduate/early-childhood-studies/> 2020.7.21 採取
46. St. Jerome's University
<https://www.universitystudy.ca/canadian-universities/st-jeromes-university/> 2020.7.21 採取
47. Trent University
<https://www.trentu.ca/graduatestudies/programs/thesis-based-masters-programs/master-education-educational-studies-med> 2020.7.21 採取
48. University of Guelph

<https://graduatestudies.uoguelph.ca/programs/list/byprogram> 2020.7.21 採取

49. University of Ottawa

<https://www.uottawa.ca/en/programs> 2020.7.22 採取

50. University of Sudbury

<https://usudbury.ca/en/programs> 2020.7.22 採取

51. University of Toronto (Ontario Institute for Studies in Education)

<https://www.oise.utoronto.ca/oise/Programs/index.html> 2020.7.22 採取

52. University of Waterloo

<https://uwaterloo.ca/graduate-studies-postdoctoral-affairs/future-students/programs> 2020.7.22 採取

53. University of Windsor

<https://www.uwindsor.ca/graduate-studies/318/education?elqTrackId=a7c5672a3ce248ab80c10166a0ad933c&elqaid=581&elqat=2> 2020.7.22 採取

54. Western University

<https://www.edu.uwo.ca/graduate-education/index.html> 2020.7.22 採取

55. Wilfrid Laurier University

<https://www.wlu.ca/programs/index.html> 2020.7.22 採取

56. York University

<https://futurestudents.yorku.ca/program-search> 2020.7.22 採取

○ **Manitoba**

57. Brandon University

<https://www.brandonu.ca/graduate-studies/> 2020.7.22 採取

58. Canadian Mennonite University

<https://www.cmu.ca/academics.php?s=gradstudies> 2020.7.22 採取

59. Université de Saint-Boniface

<https://ustboniface.ca/maitrise-en-education> 2020.7.22 採取

60. University of Manitoba

http://umanitoba.ca/faculties/graduate_studies/admissions/programs/index.html 2020.7.22 採取

61. University of Winnipeg

<https://www.uwinnipeg.ca/graduate-studies/graduate-programs/index.html> 2020.7.22 採取

○ **Saskatchewan**

62. First Nations University of Canada

<https://www.fnuniv.ca/academic/graduate-programs/> 2020.7.22 採取

63. Luther College

<https://www.luthercollege.edu/university/academics/degrees-certificates-diplomas/arts> 2020.7.22 採取

64. St. Thomas More College

<https://stmcollege.ca/study-here/classes-and-programs.php#CourseDescriptions> 2020.7.22 採取

65. University of Regina

<https://urconnected.uregina.ca/program.do?programAction=FacultyProgramList> 2020.7.22 採取

66. University of Saskatchewan

<https://education.usask.ca/programs/graduate.php> 2020.7.22 採取

○ **Alberta**

67. Athabasca University

<https://www.athabascau.ca/programs/program-listings.php?/graduate/all>

68. Concordia University of Edmonton

<https://concordia.ab.ca/education/> 2020.7.23 採取

69. King's University

<https://www.kingsu.ca/programs/bachelor> 2020.7.23 採取

70. MacEwan University

<https://www.macewan.ca/wcm/ProspectiveStudents/OurPrograms/index.htm#E> 2020.7.23 採取

71. Mount Royal University

<https://www.mtroyal.ca/Applications/ProgramsOffered/> 2020.7.23 採取

72. University of Alberta

<https://www.ualberta.ca/education/programs/graduate-programs/index.html> 2020.7.23 採取

73. University of Calgary

<https://grad.ucalgary.ca/future-students/explore-programs> 2020.7.23 採取

74. University of Lethbridge

<https://www.uleth.ca/future-student/graduate-studies/program-grid> 2020.7.23 採取

・ **BC**

75. Emily Carr University of Art + Design

<https://www.ecuad.ca/academics/graduate-degrees> 2020.7.23 採取

76. Kwantlen Polytechnic University

<https://www.kpu.ca/find-your-program> 2020.7.23 採取

77. Royal Roads University

<https://www.royalroads.ca/prospective-students/programs> 2020.7.23 採取

78. Simon Fraser University

<https://www.sfu.ca/education/gs/degreediploma.html> 2020.7.23 採取

79. Thompson Rivers University

https://www.tru.ca/edsw/schools-and-departments/education/master_education.html 2020.7.23 採取

80. Trinity Western University

<https://www.twu.ca/academics/school-education> 2020.7.23 採取

81. University of British Columbia

<https://edst.educ.ubc.ca/> 2020.7.23 採取

82. University of Northern British Columbia

<https://www.unbc.ca/education> 2020.7.23 採取

83. University of the Fraser Valley

<https://www.ufv.ca/teacher-education/find-your-program/master-of-education/> 2020.7.23 採取

84. University of Victoria

<https://www.uvic.ca/education/psychology/leadership-studies/educational-admin/index.php> 2020.7.23 採取

85. Vancouver Island University

<https://www.viu.ca/future-students> 2020.7.23 採取

【附記】

- ・ 本稿は、独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（基盤研究（C）（一般））「JSPS 科研費 JP18K02283」の研究成果の一部である。

（2021年1月29日 受理）